

平成25年度学校運営計画書

学校名 和歌山市立岡崎小学校 校長名 府中 恵理 作成日 平成25年5月1日

学校教育目標

強いからだと豊かな心を養い、最後までよく考え、意欲的に生きる子どもの育成

育てたい子ども像

おもいやりのある子
(豊かな心)

かんがえる子
(考える力)

さきに行動する子
(実践する力)

きたえる子
(強い体と心)

	開かれた学校	豊かな心	確かな学力
本年度の重点	<ul style="list-style-type: none"> 児童・教職員・保護者が教育目標の具現化に向けた取組を行う。 保護者や地域との信頼関係を深めるとともに、地域の関係団体等とも連携を図り、児童の健全育成に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 道徳教育を柱に、教育活動全体を通じて、「豊かな心を持ち、よりよく生きようとする子ども」を育成する。 人権教育・道徳教育を推進する中で、一人一人の良さに気づき、他人に対する寛容と温かい思いやりのある心を育み、人権意識の高揚をめざす。 	<ul style="list-style-type: none"> 「わかる授業」「楽しい授業」をめざし、児童一人一人を大切にした授業を行う。 「書く力」について研修し、思考力・表現力を伸ばす。 授業や「学習タイム」で基礎基本の確実な定着を図る。
目標達成に向けた具体的方策	<ul style="list-style-type: none"> 教育活動全体を通じて、児童と教職員が教育目標の具現化に取り組む。 <u>(挨拶・縦割り掃除等)</u> 学校からの広報誌や参観・行事等を通じて、学校教育目標や教育活動等を保護者や地域へ広く知らせる。 児童の様子等、保護者から相談しやすい環境づくりに努め、家庭との連携を密にして児童の健全育成をする。 地域の関係団体等とも連携を図り、児童が安全に登下校でき、学びやすい環境(通学路や災害時の安全を含む)をつくるために取り組む。 児童の学年や発達段階に応じ、地域の方々との交流を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 道徳と他の教科等の時間と連携させた総合単元を組み、教育活動全体を通じた道徳教育を推進する。 道徳の時間の話し合い活動・発問の工夫・授業展開(特に自己の生き方について考えを深めることの視点を持つ)等の研究を行い、その充実を図る。 様々な教育課題を解決するための取組をすすめ、一人一人の子どもの個性を生かし、その可能性を最大限に発揮できるよう、日々の教育活動をとおして、子どもの実態を十分に把握し、必要な手だてを講ずる。 心を豊かにする体験活動(縦割り活動・加太合宿・交流活動等)の内容の精選を行い、充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 教材研究を深め、十分な準備のもと、授業を充実させる。 思考力・表現力を向上させ活用力をつけるため、考えを書く力や人前で話す力を伸ばすことを大切にする。 支援員(市特別支援教育支援員・和歌山大学学生)を活用し、基礎的な知識・基本的な考え方の定着を図る。 「学習タイム」の内容を充実させ、計算ドリルや漢字学習、読み聞かせ、読書の時間をとおして、国語・算数の力をつける。 一人一人に合ったペースで着実に学力をつけさせ、自己肯定感を育む。